

明治日本の産業革命遺産と明治維新

幕末、薩摩藩は「集成館事業」として、藩主・島津斉彬を中心にどこよりも早く産業の近代化に取り組まれました。そして時を経て、2018年は明治維新から150周年という節目。その記念すべき年を前に、先日、「集成館事業」の一部が『明治日本の産業革命遺産』の構成資産として世界文化遺産登録にふさわしいというイコモス勧告を受けました。この度は世界文化遺産へ登録目前の『明治日本の産業革命遺産』と明治維新について講演会を開催します。

日時: 2015年5月31日(日)
14:00~15:30

会場: 鹿児島県歴史資料センター**黎明館** 講堂

講師: **原口泉氏** (鹿児島県立図書館長)

聴講料: **無料** ※事前申込不要

問合先: NPO法人かごしま探検の会

[TEL]099-227-5343



この講演会は「平成27年度近代化産業遺産普及・啓発事業」の一環で実施するものです。